

2019年度 JIS Z 3821

ステンレス鋼溶接技能者評価試験及び受験準備講習会

一般社団法人神奈川県溶接協会、及び一般財団法人日本溶接技術センターは、表記評価試験及び受験準備講習会を実施いたします。溶接技術の向上を目指してたくさんの方が参加下さいますようご案内申し上げます。

2019年	学科講習	実技講習	評価試験
4月	3日(水)	4日(木)	5日(金)
5月	8日(水)	9日(木)	10日(金)
6月	5日(水)	6日(木)	7日(金)
7月	10日(水)	11日(木)	12日(金)
8月	7日(水)	8日(木)	9日(金)
9月	4日(水)	5日(木)	6日(金)
10月	9日(水)	10日(木)	11日(金)
11月	6日(水)	7日(木)	8日(金)
12月	4日(水)	5日(木)	6日(金)

2020年	学科講習	実技講習	評価試験
1月	8日(水)	9日(木)	10日(金)
2月	5日(水)	6日(木)	7日(金)
3月	4日(水)	5日(木)	6日(金)

*講習会は1週間前までにお申込みください。但し、満員になり次第締め切ります。
 *試験は、試験日の約1か月前に締切ります。但し、ステンレスのパイプ(TN-P)は会場の都合上、本数制限をしているため、その前には満員になる可能性が高いです。お早目にお申し込みください。
 *評価試験の申込書又受験料金は別途必要です。申込書をお持ちでない場合は、請求してください。料金はホームページにも掲載しています。http://www.jwes-kanagawa.jp/
 *筆記用具、作業服、保護具を持参下さい。
 《会場》一般財団法人日本溶接技術センター
 川崎市川崎区本町2-11-19
 JR川崎駅より徒歩20分 京急川崎駅より徒歩15分
 駐車場はありません。近隣に有料駐車があります。

***学科、実技 二日コース**

*評価試験の直前に学科、実技についての受験要領を勉強します。

○日時	上記2日間の 毎回9時～16時		
○受講料	被覆アーク溶接(板)	43,500円(+税)	
	ティグ溶接(板)	41,500円(+税)	
	ティグ溶接(パイプ)	53,500円(+税)	
	ミグ溶接(板)	55,500円(+税)	
	テキスト代	2,190円(+税)	

*注：実技練習時の材料上限数は下記を参照してください。

Ⓢ表記の料金には消費税が含まれていません。講習会料金には検定試験料金は含まれていません。試験料金は別に問い合わせください。又は、ホームページでも確認できます。受講日変更の場合は、3日前までにご連絡ください。一旦納入いただいた受講料は、ご返金できません。

***実技のみの一日コース**

*評価試験の直前に実技についての受験要領を勉強します。

○日時	上記日程の2日目 9時～16時 *練習材料上限数は下記の通りです		
○受講料	被覆アーク溶接(板)	29,500円(+税)	7セット
	ティグ溶接(板)	27,500円(+税)	7セット
	ティグ溶接(パイプ)	39,500円(+税)	4セット
	ミグ溶接(板)	41,500円(+税)	5セット

*注：板とパイプ 両方の場合は、板3セット+パイプ2セット

***学科のみの一日コース**

*評価試験の直前に学科についての受験要領を勉強します。

○日時	上記日程の1日目 9時～16時		
○受講料	15,000円(+税)		
	テキスト代 2,365円(+税)		

*申込み及び問合せは下記へお願いします。
 川崎市川崎区本町2-11-19
 一般社団法人神奈川県溶接協会
 電話 044-233-8367
 FAX 044-246-5265
 E-mail: wes-kana@aioros.ocn.ne.jp
 料金は現金持参又は現金書留郵便又は振込みのいずれかをお願いします。
 横浜銀行川崎支店 普通預金 2200225

きりとり

ステンレス鋼溶接技能者評価試験受験準備講習会申込書 *

受講者名(フリガナ)	期日	希望コース(希望コースを○で囲んでください。)	受験種目	試験日	受講料
	月 日	学科と実技 二日コース	・ 実技のみ 一日コース	・ 学科のみ 一日コース	/
	月 日	学科と実技 二日コース	・ 実技のみ 一日コース	・ 学科のみ 一日コース	/

◎テキスト 冊 購入します。

○← テキストを購入しない場合は、○にレ点をして下さい。

申込み者(会社・個人)

担当者

住所(郵便番号)

電話

振込みの場合、予定日を記入してください。 月 日

手溶接 (被覆アーク溶接)			
試験材	資格と記号	溶接方法	試験材寸法
板 板の厚さ 9mm	基本級 CN-F	下向き (板) 突き合わせ溶接 (裏当て金なし)	
	専門級 CN-V	立向き	150×125×2枚
	専門級 CN-H	横向き	溶接方向は150です
	専門級 CN-O	上向き	開先はV型
	専門級 CA-O	上向き 突き合わせ溶接 (裏当て金あり)	
パイプ (管)	専門級 CN-P		150A×100×2
	専門級 CN-PM	1～3層までティグ溶接、後手溶接	肉厚 11
	専門級 CA-P		開先はV型
ティグ溶接			
試験材	資格と記号	溶接方法	試験材寸法
板 板の厚さ 3mm	基本級 TN-F	下向き (板) 突き合わせ溶接 (裏当て金なし)	
	専門級 TN-V	立向き	150×125×2枚
	専門級 TN-H	横向き	溶接方向は150です
	専門級 TN-O	上向き	開先はI型又はV型
パイプ (管)	専門級 TN-P	パイプ	100A×100×2
		肉厚 3	開先はI型又はV型
ミイグ溶接			
試験材	資格と記号	溶接方法	試験材寸法
板 板の厚さ 9mm	基本級 MN-F	下向き (板) 突き合わせ溶接 (裏当て金なし)	
	専門級 MN-V	立向き	200×125×2枚
	専門級 MN-H	横向き	溶接方向は200です
			開先はV型
	基本級 MA-F	下向き (板) 突き合わせ溶接 (裏当て金あり)	
	専門級 MA-V	立向き	200×125×2枚
専門級 MA-H	横向き	溶接方向は200です	
		開先はV型	

Fの記号の資格を基本級といいます。最初はこの資格を取得してください。その後、専門級(V・H・O・P)が受けられます。但し、基本級合格を条件にして専門級も同時に受験できます。

尚、上記手溶接(被覆アーク溶接)の資格を受験する場合、当分の間JIS Z 3801のN-1F・A-2F・N-2F・A-3F・N-3Fを基本級として扱いますので、これらの資格を現有する場合はF・V・H・O・P各種の資格のみ受験できます。

学科試験：はじめてこの試験を受ける場合は学科試験がありますので、講習会を受けてから受験されますようおすすめいたします。

受験資格：基本級の試験は、1か月の経験者で15才以上、専門級の試験は、3か月の経験者で15才以上です。

試験材の見取り図

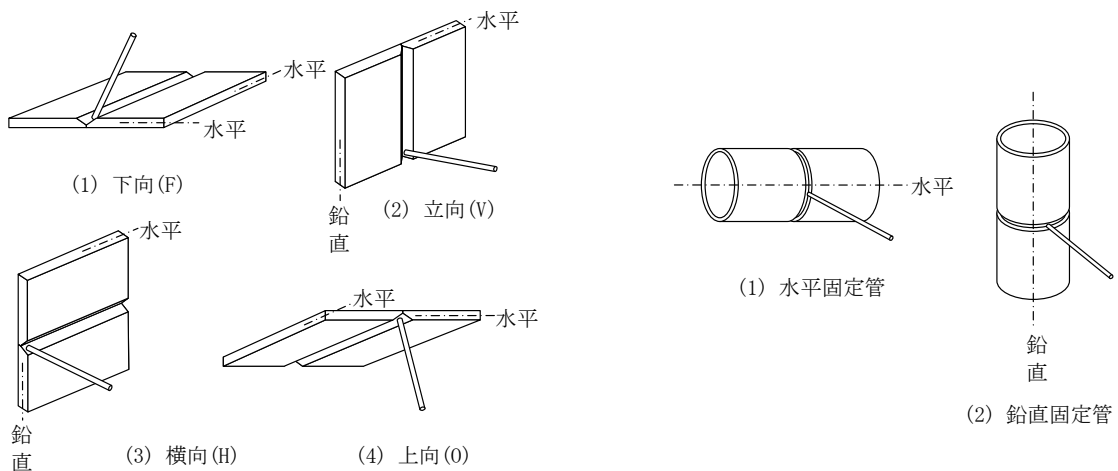


図1 板の溶接姿勢

図2 管の溶接姿勢